

あなたと市議会



「Color : future」 横手清陵学院中学校3年 和賀 結愛^{ゆめ}さん

主な内容

Y8サミット創快横手市議会 … 2	12月定例会ピックアップ …… 4
委員会審査報告 …………… 6	一般質問 …………… 9
先進地から学ぶ …………… 14	

作品のこだわりポイント!

この作品には、将来就きたい職業や、したいことを見つけたときの色のなかった世界に、彩りが増していく感動、気持ちを込めました。

Y8サミット 創快横手市議会

増田中

地域一体協力で
観光を促進！

若者の
流出を防げ！
天下森エリアを
リゾート化
しよう!!

Xスポーツ大会
の開催

ふるさと納税
返礼品で
観光優待や
さびなる
横手のPRを！

旬な特産品の
定期便の商品化

佐藤絢水 松川蒼矢 石井優芽 黒澤 壮 佐藤白峰 大屋敷凜久

平鹿中

魅力的な企業を
知ることでできるよ!

職業体験
マッチング
アプリを
開発したら?

個人と企業の
ミスマッチを防止

横手清陵学院中

横手がテーマの
作品募集

横手の魅力を
伝える
ストーリー
コンテストを
設立してみたら?

横手ファンの
獲得もできるよなっ!

アニメで取り上げられる
聖地巡礼
横手の活性化
齋藤美尋

期待できる効果①
個人と企業のミスマッチをなく
「想像していた仕事内容と違う...」
「自分の苦手な作業ばかり...」
高卒38.8% 大卒36.6%

木村京都 新山大雅 鈴木愛望 菅原薫奈 太田陽朗

僕たちの提案が
実現するのが
楽しみにしています!

キラッ!

皆さんの提案を
政策に取り入れ、
市の発展に
つなげますね!

議長 小原正慧

議長 高橋市長

やったぜ!! ☆☆☆☆
Y8ミッションレポート!!

中学生議員たちの
果敢なる挑戦は
これからも続く...!

中学生議員の勇姿は
Youtube 動画で!

秋田県横手市議会

11月10日、
横手市内の全中学生
1955人を代表し、
各校から選抜された
21人の中学生議員たちが
地域の課題解決の
アイデアを
市長に提案する日が
やってきた...

ドキドキ さわ...
ドキドキ さわ...

横手南中

農業振興で
地域の
活性化を!

農産物の
ブランド化の推進!

増すこつ
増すこつ

議長 木村京都

さあ僕たちの提案を
しっかりと
市長に届けようぜ!

松井泰花 藤原遙希 堀川創太郎

十文字中

旧十文字
第一小学校&
周辺エリアの
利活用を!

交流スペースで
イベント開催!

宿泊施設や
インフォスペース整備

議長 小原正慧

十文字中学校 提案2
市民が集う「副次点」として整備する
コミュニティセンターとともに交流の場に
フリーマーケット 料理教室
スケートリンク 和紙製作教室
幅広い年代の人が交流できる

小松峻大 藤田城太 菅原悠太

横手北中

楽しく
健康増進!
健康
寿命県内
ナンバー1に!!

健康の駅と
いきいきサロンの
タイアップ

議長 小原正慧

高村秋音

No.1

チャリティ
イベント
開催!

高村秋音

賛否が分かれた議案と審議結果

施術券に関する陳情書

議決結果	表決数		市民の会					さきがけ					新国会					創成の会		日本共産党		公明党		新風の会		実横会		
	賛成	反対	宮川拓也	福田誠	山形健二	大日向香輝	菅原正志	齋藤光司	菅原恵悦	青山豊	佐藤誠洋	寿松木孝	播磨博一	塩田勉	高橋聖悟	柴田忍	佐藤忠久	小野正伸	高橋和樹	林一輝	本間利博	加藤勝義	鈴木勝雄	立身万千子	土田百合子	井上忠征	木村清貴	加藤雄太
不採択	2	23	●	○	●	○	●	●	●	●	※	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

○：賛成 ●：反対 ※寿松木孝議長は採決に加わりません。この他の議案は全員賛成により可決されました。

物価高騰への負担軽減支援を決定

■農業者などへの支援

【農業者への支援】

・堆肥、有機肥料の散布に必要な作業機械などの導入経費の一部と堆肥、有機肥料購入費の一部を支援

【施設園芸農業者への支援】

・燃料、光熱水費の価格高騰に伴い増加した経費の一部を助成

【畜産農家への支援】

・飼料価格の上昇に伴い増加した経費を助成

■学校給食費の保護者負担軽減

食材の価格高騰による増額分を補填することにより学校給食保護者負担金の値上げを行わず、保護者などの負担を軽減



■あったか灯油助成拡大事業

住民税非課税世帯のうち、特に支援が必要な世帯を対象として助成金を支給

10月臨時会の概要

電気、ガス、食料品などの価格高騰による影響が大きい世帯を支援するため、住民税非課税世帯などに対する緊急支援給付金の給付に伴う令和4年度一般会計補正予算について審査し、可決しました。

議案PickUp

■秋田県および横手市における生活排水処理事業の運営に係る連携協約

県が県内25市町村と進める、生活排水処理事業運営のための広域補完組織設立について、連携協約を締結するため、秋田県と協議するもの

■人事案件

・教育委員会委員の任命
加賀谷 長吉 氏（横手・再任）

陳情の審査結果

採択

◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善のため国に意見書提出を求める陳情
(秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 三浦 耐子氏)

採択

◆医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げのため国に意見書提出を求める陳情
(秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 三浦 耐子氏)

不採択

◆施術券に関する陳情書
((一社)秋田県鍼灸マッサージ師会 横手支会長 石井 孝幸氏)



JR東日本では令和5年3月から十文字駅に駅員を配置しないことに

令和4年7月、国土交通省の有識者検討会から、利用者数の少ない地方鉄道の再構築に関して、存続策やバス転換などを検討する内容の提言が出されました。
また、その3日後には、JR東日本から、地方路線ごとの厳しい収支状況が初めて公表されました。

公共交通を取り巻く状況は

これを「赤字路線廃線の布石」だと警戒する声も上がる中、この度JR東日本では令和5年3月から十文字駅を無人化する旨の決定をしました。
(関連記事はPRをご覧ください)

市内における公共交通は利用者の減少が続いています。すでに採算の合わないバス路線の廃止なども進んでおり、このままでは、今後さらに地域公共交通の利便性が低下してしまいう可能性もあります。



これまで議会では

地域公共交通の問題解決を目的に、スクールバスを公共交通に利用している先進地などに出向いて調査するなどし、会派代表質問や一般質問などにより公共交通の維持・拡充を度々訴え続けてきました。
また、平成30年と令和元年には雄物川町館合地区の「つきの木会女性



地域要望を踏まえ 議会の提案により実現した有償旅客運送

部」と公共交通についての懇談会を行い、そこでは「路線バスが廃止されたことで通院や買い物にも行けず、大変不便をしている」との悲鳴とも言える声が寄せられました。
このような市民からの声を拾い上げ、議会でスクールバスを活用した有償旅客運送についての提言を重ねた結果、令和2年2月より、「柏木・大森病院線」の運行が実現しています。



議会での議論は

問 地方の赤字鉄道路線は全国的な問題だが、特にJR北上線においては危機的な状況だ。市としてどのように対応していくのか。

答 関係自治体と連携の下で利用促進などに取り組み、引き続きJR北上線の維持を図る。

問 現段階での課題は何か。

答 地域公共交通の維持・確保がこれまで以上に厳しい状況となっている。市民の皆さまにも公共交通の重要性を認識いただき、今ある地域公共交通を「乗って守る」意識の醸成を図っていくことが必要と考える。

横手市議会は、地域公共交通を重要な課題と捉え、地域の皆さまが不便なく生活していけるよう、今後も尽力してまいります。

市民の足を守る！

12月定例会は11月28日から12月14日までの日程で開催されました。議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。

産業建設常任委員会

物価高騰にも負けない 実効性の高い農業振興策を

◆一般会計補正予算(第10号)
問 堆肥、有機肥料、散布機械などの購入に対する助成となっているが、有機への取り組みの継続性はどうか。
答 物価高騰対策の地方創生臨時交付金を活用している。堆肥散布機械の導入については、農家に追跡調査を行うことも要件としており、今後の農業施策を構築する上で、農産物の付加価値を高め、ブランド力向上にもつながらる事業を検討していきたい。
問 今期の稲作は不作であった。農家が意欲を持って営農継続していけるよう、全体に行き渡る支援は考えられないか。
答 一律に補助金を交付するといふよりも、次の厳しい波が来ても耐えられる経営基盤の強化につながる支援が必要だと考えている。

◆一般会計補正予算(第9号)
問 当初予算になかった成長産業支援事業に1億円が補正された理由はなにか？
答 2社への支援は、予測していたものの、年度内に執行できない可能性があった。当初予算には計上せず、このたび支援することが確定したため、補正予算を提案することになったものである。
◆土地区画整理事業特別会計に関する条例の一部改正
問 一般会計で清算事務が5年間続くが、特別会計のままでは不都合なのか。
答 既に整備が終了していることから特定の歳出がない。このため一般会計に移行するものである。
◆保育園建設に伴う樽見内地区農村総合運動公園の廃止について
問 保育園建設について、地区の住民への説明はどのようにされたのか。
答 地区の町内会長及び保育園建設地の周辺集落の全ての住民に案内し、9月15日に説明会を開催した。



堆肥・有機肥料への転換を支援し、環境負荷低減、地域内循環農業を推進

産業建設常任委員 菅原 正志・佐藤 誠洋・齋藤 光司・加藤 勝義・鈴木 勝雄・小野 正伸・播磨 博一・木村 清貴

厚生常任委員会

* エssenシャルワーカーの 処遇改善を望む

◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善のため国に意見書提出を求める陳情
討論
賛成 「現場の受け入れ体制が充実しなければ市民の命にかかわる重大な状況にあると思う。さらに、新たな感染症や災害に備えるため公立・公的病院を拡充・強化し、保健所の増設などの公衆衛生体制を何年も前から要望しており、国への訴えを強めるべきと痛感する」
可 起立採決の結果、起立全員により採択すべきものと決定した。

◆一般会計補正予算(第9号)
問 園児の睡眠中の事故防止対策の備品購入に対する補助について、その前に独自に購入した施設があるならば、厳しい経営状況などを鑑みると、遡っての支援を市独自に検討すべきと思うがどうか。
答 購入状況は把握していないが、現在保育所の指導監督を行っており、提案内容について確認するとともに、各施設が同じ安全基準を示しているかという部分についても、今後さらに確認していきたい。
◆介護予防サービスの利用効果はどうか？
問 介護予防事業所の増加に伴い、介護度へどのように影響が出ているのか。
答 要支援1と2の認定者数は2割ほど増加し、利用者数はサービスの種類により倍増しているものもあることは把握している。また、要介護認定者の増加率は予想を下回っている状況にあり、何らかの良い影響が出ているものと考えている。

◆重度者対応のデイサービスが減っている状況にあると思うが、市としてどのように考えているか。
答 現在は、需要に対して施設が不足しているとは考えていない。この先の動向は見通せないため、アンケート調査などを通して需要と供給のバランスを把握し、介護保険事業計画に反映していきたい。
**安全・安心な将来のために
Essenシャルワーカーの処遇改善が重要**

厚生常任委員 土田百合子・山形 健二・柴田 忍・宮川 拓也・林 一輝・立身万千子・青山 豊・佐藤 忠久

総務文教常任委員会

JR 十文字駅無人化回避へ
地域公共交通存続への対策待ったなし

◆一般会計補正予算(第10号)

JR十文字駅は無人駅になってしまふの？

問 令和5年3月のダイヤ改正時にJR十文字駅が無人化されることと決定された。それを回避するために、市でJRからの簡易委託を受け人員を配置することだが、どのような業務を行うのか。

答 JR十文字駅に現在設置されている乗車券券売機が撤去されることになるため、対面での切符販売を行う。その他、駅舎内のトイレなどの清掃や冬期間における階段の簡易的な除雪など、駅舎の維持管理を想定しているが、詳細は業務委託を予定しているシルバークリスタールとJR、市の3者で詰めていきたい。

問 JR十文字駅の無人化は駅の利用者数減少によることだが、今後利用者が増加した場合はどうなるのか。

答 定期券以外の乗車人数が1日当たり120人を下回ると、JR側で無人化の検討対象となる基準となっている。再び120人を上

回った場合はJRで人員配置を検討するといふ話を聞いている。

学校では新型コロナ検査キットは足りているの？

問 小学校および中学校の学校管理費の補正予算が計上されているが、これは新型コロナの検査キットを購入しようとする内容か。

答 検査キットも対象としているが、これに限らず各校長の判断で購入計画を立てて必要な物品を購入しようとするものである。

問 市内小中学校では新型コロナの検査キットをある程度準備していると思うが、充足状況はどのようになっているか。

答 教育委員会が危機対策課と連携を取り一定数を配布しているが、さらに多くの量が必要と学校側で判断した場合、今回の補正予算で追加購入することもあり得る。

スキー場周辺の整備に向けた意見交換はできているの？

◆天下森スキー場周辺の施設の指定管理者の指定
問 周辺の環境を良くするため、

指定管理者との打ち合わせはどのように行っているか。

答 整備計画の進捗状況を指定管理者にも説明し、改修工事の打ち合わせにも一緒に入ってもらい全体を詰めている。地域住民や関係機関の意見を反映したい。

防災備蓄品の配備に地域の声は反映しているの？

◆コミュニティ消防センターなどの指定管理者の指定
問 防災備蓄品の配備状況は。

答 避難所に指定されている施設や孤立が想定される集落の会館などに優先的に配備しているが、地域からの要望があれば対応する。



市が簡易委託を受けることで無人化が回避されるJR十文字駅

総務文教常任委員 高橋 和樹・菅原 恵悦・大日向香輝・福田 誠・塩田 勉・加藤 雄太・本間 利博・井上 忠征・高橋 聖悟

立身 万千子 議員
たちみ まちこ



地域公共交通や十文字駅舎の利便性向上を



問 地域公共交通の今後の展望は。

答 当市の公共交通は、路線バス、デマンド交通、循環バスの組み合わせとスクールバス車両の活用を特徴としている。循環バスのより良いルート設定については、利用者のご意見や、事業者との情報交換を通じ協議を続ける。

●JR十文字駅の階段について

問 JR十文字駅が無人化される方向の中、駅構内の階段を使わず、直接ホームに行けるような運用はできないか。

答 安全面の規制が強化されたことで実現には駅舎の大規模改造が必要となる。要望はしたが、JR側の経営判断を要することから、非常に難しい状況にあると考える。●本庁1階に設置されている「横手市自立相談支援窓口」について
問 市が社会福祉協議会に窓口の運営を委託しているが、相談内容



階段を渡らなければホームへ行けない十文字駅

◆市との関係部署との連携は。

答 経済的な困窮や自立に向けた支援が必要な市民の相談を受け付けているが、複合的な課題を抱えた相談も多い。市との関係部署の担当も参加し支援調整会議を開くなど、計画的に支援を行っている。

■その他の質問

●デジタル化に伴う市民相談について、特に地域局の対応職員の増強を望む声にどう対応するか
●大型公共施設(新体育館と新市民会館)整備事業が厳しい見通しにある中で見直しを図る考えは

土田 百合子 議員
ちただ ゆい



子宮頸がん撲滅に向けワクチン接種の促進を

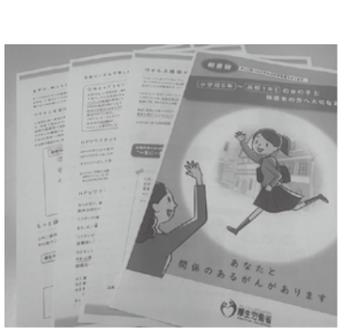


問 積極的勧奨再開に伴う現状と課題について伺う。

答 定期接種対象者1500名にお知らせを送付した。3回必要とされる接種のうち、1回以上接種を終えた方の10月末現在の接種率は14.9%である。また、接種機会を逃した方を対象とした「キャッチアップ接種」の対象者は1940名で、1回以上接種した方の接種率は13.0%であり、まだ低い状況だ。ワクチンの安全性や子宮頸がんがどのようなものかを市民に正しく知っていただくため、市報やホームページでの情報発信や各種会合などで周知していく。

問 子宮頸がんになりやすいHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染予防効果が高いとされる9価HPVワクチンの安全性はどうか。

答 現在定期接種で用いられている4価HPVワクチンと安全性は



厚生労働省が作成した子宮頸がん予防ワクチン接種のリーフレット

同程度とされている。令和5年4月からの9価HPVワクチンの定期接種化へ向け準備を進める。

問 男性へのHPVワクチン接種の助成について伺う。

答 HPVは子宮頸がんだけでなく、男性に多い中咽頭がんや肛門がん、直腸がん、陰茎がんの原因となっているが、ワクチンはこれらのがん発症を予防することが示されている。また、性交渉での感染によるパートナーの罹患を防ぐためにも効果がある。助成については国の動向を注視し、対応していく。

加藤 雄太 議員

かとう ゆうた



林業に関わる人々と森林の未来への投資を



問 未来を担う林業技術者の養成を行う、県の林業大学校に通う横手出身の学生へ、森林環境譲与税を活用して支援を行えないか。

答 人材の育成は重要であると捉えているが、まずは子ども年代から森林環境や林業に興味を持ってもらえるよう、木育事業に力を入れていきたい。

問 再造林が思うように進んでいないが、行政だからこそ未来への投資が必要と考える。譲与税を活用し、再造林を行う事業者や森林所有者へ支援を行えないか。

答 現状から五十、百年後の市の山林・森林を考えると、待ったなしの非常に大きな問題であると捉えている。再造林や保育間伐について、市がしっかりと後押ししていく。

●物価高騰などによる生活への影響が続く中での支援策の検討は
問 コロナ禍や物価高騰が続く、



適切な整備が未来の森林につながる

市内経済や市民生活に多大な影響が及んでいる。今後の支援策をどう検討しているか。

答 世の中の状況を捉えながら、課題があると確認した際には何らかの措置を講じてきた。今後、目まぐるしく状況が変化しても、さまざまな問題や課題解消の一助につながる支援を検討したい。

■その他の質問
 ●プレミアム付商品券の販売状況と経済効果について
 ●マイナンバーカード普及促進状況と市独自の付加価値の検討は

播磨 博一 議員

はりま ひろかず



膨らむ建設費、市民への影響は



問 大型公共施設整備に当たっては多額の建設費の他、その後の維持管理費や修繕費、改修費が見込まれる。今後厳しい財政運営が予想されるが市民生活への影響はどうか。

答 未来への投資により人口減少を克服し、にぎわいのある横手市を実現するための事業である。この事業により市民生活に影響を及ぼさないよう、最適な予算配分に努めながら、身近なまちづくりや地域要望にもきちんと応えていく。

問 施設の建設費の推移と見込みはどうか。

答 現時点での概算事業費は、横手体育館が109億8千万円、横手市民会館が7億7千万円、合わせて187億5千万円と試算している。基本計画時は129億円と想定していたが、世界的な物価高騰などの影響で1.4〜1.5倍



改築予定の横手体育館

に増加している。

問 建設費の上限額の見込みはあるか。

答 経済情勢を注視しながら設計業務を進めていく。施設構造の再検討、使用資材の精査、発注方法の検討など、さまざまな角度から事業費を抑える検討をしている。現在の資材価格の動きからみて今のところ上限を設けるといふことは考えていない。

■その他の質問
 ●横手市における80500問題について見守り活動を強化すべきでは

山形 健一 議員

やまがた けんじ



ペットボトルの回収を月2回に



問 回収するペットボトルの量が増加している現状にあり、ごみ捨て場に設置されている袋にペットボトルが収まらずにあふれてしまっている。回収日を月1回から、月2回に増やしてはどうか。

答 ペットボトルなどの回収回数も含めたごみ収集計画の見直しを行い、(仮称)新ペットボトル等処理センターの完成と同時に、新たな収集計画でごみの収集を実施できるよう進めていく。

●企業誘致の成果が見えない
問 企業誘致のメリットとして、人口増加、雇用創出、経済への波及効果、税収アップなどが挙げられるが、実際はどうか。

答 直近5年間で460名の雇用創出、うち市外から150名が採用されている。今後さらに380名ほどの雇用が見込まれている。

●横手で半農半Xを
問 農業用資材などの価格高騰により、生産者の経営状態は大変厳しいものとなっている。今後市独自の支援策はあるのか。



各地のごみ集積所でペットボトルがあふれている

問 移住や農家の課題解決など可能性のある取り組みだと思いが、横手市でもやってはどうか。

答 課題はあるが移住促進にも取り組むことが可能か検討する。

●子育て支援を手厚く
問 子育て支援策として、保育料の完全無料化、給食費の無料化、18歳までの医療費無料化の3つの無料化を提案するがどうか。

答 提案も含めて「よここの未来創生プロジェクト」の中で施策を検討して参りたい。

柴田 忍 議員

しばたしのぶ



農業経営継続・生産基盤強化の支援は



問 農業用資材などの価格高騰により、生産者の経営状態は大変厳しいものとなっている。今後市独自の支援策はあるのか。

答 市としては、
 ①畜産農業者に対しての飼料価格上昇分に応じた支援
 ②園芸施設農業者に対して、令和3年度冬期間への助成に続き、令和4年4月から10月までの助成
 ③堆肥や有機質肥料散布機械の導入に対する助成
 ④堆肥及び有機質肥料の購入経費に対する支援

の支援策を事業化する考えである。今後関係機関と連携し、農業者が意欲的に営農に取り組んでいただけるよう対応していく。

●果樹園道路の舗装整備について
問 雪深い時期の作業の効率化、果樹園の維持管理のために、果樹園までの道路の計画的な整備が必要



価格高騰の影響を受ける生産者への支援実施へ

要と考えるがどうか。

答 果樹園道路などで大規模な整備を行う場合は、国や県の補助事業を活用することとしているが、事業要件など課題が多く、補助金の活用が難しい。今後、小規模で活用しやすい補助金などの創設について国や県に要望していく。

●市民生活の安心・安全について
問 雨水排水溝の機能確認について、どのように対策しているのか。

答 大雨への備えとなる道路側溝の清掃については地域住民と行政が協働で取り組んでいく。

林 一輝 議員

はやし かずき



庁舎でのDXの取り組み促進を

問 議会では平成29年よりタブレット端末を導入しているが、執行機関ではまだ導入されていない。今後、導入の予定はあるか。

答 全体の業務用端末更新などの機会を捉え、議会審議でのタブレット端末使用についても検討する。

問 職員の業務負担軽減や人件費の削減、窓口サービスの向上などのため、会議録作成支援システムの導入を検討してはどうか。

答 今後最適なシステムを選定し、導入を進めていく。

●市長にイクボス宣言を

問 組織のトップである市長がイクボス宣言をすることで、市が全力で「人口増」に取り組み意思表示になると思うが、宣言への考えは。

答 人口減少問題に対する具体的な施策や取り組みを着実に推進していくことで、職責を果たす。

問 男性職員の育児休業取得促進



について、今後の取り組みは。

答 職員の意識醸成や管理職に対する業務マネジメントの研修などを通して、取得率の向上につなげていく。

●学校のICT化について

問 出欠報告のオンライン化や、プリントの電子化の計画はあるか。

答 冬休み明けに全ての市立小中学校で欠席・遅刻連絡用のスマートフォンアプリを導入する。このアプリにはプリントの電子データ添付機能もあり、紙の削減や印刷業務の負担軽減なども期待できる。



議会と執行機関の双方でタブレット端末を導入する自治体が多いが…

菅原 正志 議員

すがわら ただし



地産地消の肥料を検討してはどうか

問 肥料高騰の折、もみ殻のくん炭化、有機肥料のペレット化、下水汚泥の肥料化を市全体として取り組み検討をするべきではないか。

答 もみ殻の有効活用についてはJAや民間事業者などに事業化の働きかけを進めていく必要があると考えている。有機肥料の粒状化については、令和3年度からJAと協議を重ねているが、諸課題を考慮すると慎重に判断していく必要がある。下水汚泥の肥料化については、県が建設を予定している「県南広域汚泥資源化施設」で、資源化する計画がある。令和7年度に予定されている資源化施設の稼働に向けて検討する。

●農業支援人材の取り組みは

問 農業支援のための市職員の兼業認定の検討結果は。

答 兼業認定の取り組みは可能である。他自治体の参考事例を収集



し、令和5年度からの運用開始を目指して許可基準案を検討しており、引き続き準備を進める。

問 JAの無料職業紹介所の状況についてどう。

答 11月末現在で延べ85件のマッチング実績であり、求人数に対して求職者が少ない状況である。求職者掘り起こしのための広報活動に加え、市による農作業講習会、JAによるアンケート調査などを通して、効果的・効率的な労働力確保に向けた具体策をJAと共に検討し、推進していく。



もみ殻を資源に。もみ殻100%のエコな燃料

佐藤 誠洋 議員

さとう けいよう



当市の強みを生かし農業大学校の誘致を

問 当市は県内トップの農業産出額を誇り、JAと連携協定を結んでいるほか、県と市の農業部門が機能合体をしている。さらには県内では他に例のない、よこて農業創生大学事業を進めている強みもある。それを生かして若者の定着を図り、基幹産業である農業を軸に付加価値を高めた産業構造を構築して所得を増やすため、よこて農業創生大学事業を県立の農業大

学校にすることはできないか。

答 県立農業大学校などの高等教育機関の誘致のハードルは非常に高い。しかし実現できれば当市の大きな魅力となり、まちづくりの一助にもなるため、有効な取り組みが可能なかを含め検討する。

問 農業大学校など農業経営の担い手を育成する高等教育機関がないのは、全国で秋田県など4県のみである。また、東北地方の農業

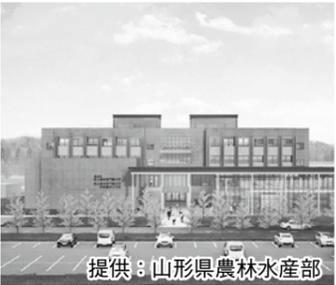


大学校は全て県庁所在地以外の農業が盛んな地域に設置されているが、これを踏まえて市長の考えは。

答 どういった方々が大学校に集まり、卒業後に当市にどのような戦力となるのかを研究したい。

問 大分県別府市では大学誘致により年間100億円の経済効果を生み出し、人口減少の歯止めにつながっていることをどう捉えるか。

答 新たな分野の発想がないと難しいと感じているが、高校卒業後の受け皿としての必要性も感じており、事例を研究していきたい。



提供：山形県農林水産部
山形県には既存の山形大学農学部のほか、4年制の東北農林専門職大学が開学予定

鈴木 勝雄 議員

すずき かつお



水田活用緊急支援対策事業の見直しを

問 水田活用緊急支援対策事業の交付単価は、事業当初から据え置かれている。園芸作物の維持、拡大に取り組むためには、事業の見直しが必要ではないか。

答 将来にわたって安心して複合経営に取り組んでいけるよう、事業の見直しも必要と考えている。水田活用による自給率向上と、農業者の所得の向上に貢献できるように、その時々状況や課題に応じた支援内容を検討する。

問 一部の品目を除き、園芸作物の栽培面積は年々減少している。小規模農業者の園芸作物を維持していくことも重要と思うがどうか。

答 小規模農業者などが作付けを諦めることなく継続して農業経営を維持できるように、きめ細やかな支援を行い、園芸作物の維持についても一層力を入れていく。

●漬物製造販売事業者への対応は



問 食品衛生法改正に当たり、漬物の製造販売を行っている方へのアンケート結果と、今後の対応は。

答 6割強の方が製造の継続を希望し、そのうち約6割の方から改正法に対応し事業を継続できる見込みとの回答があった。引き続き支援事業の周知、説明を行い、希望者が継続できるように努めていく。

●コロナ禍の経済支援策は
問 コロナ禍の物価高騰に対し、1世帯あたり一律5万円の給付を。定していない。



園芸作物の維持・拡大に向け支援内容の見直しを

厚生常任委員会

10月31日~11月2日

全国トップクラスの子育て支援策を学ぶ

茨城県猿島郡境町

ポイント

■日本子育て支援大賞受賞の背景 給食費や医療費の助成、無料の英語教育、移住促進住宅整備など、境町独自のさまざまな子育て施策の実施。
■子育て政策に充てる財源 48億円を超えるふるさと納税など、独自の財源確保によって、事業への大胆な投資が可能に。

視察を終えて

▶子育て支援センターに、コワーキングスペースを設け、親子が同じ空間で安心して過ごせるような環境をつくることは、今後、必須であると再認識した。
▶子育て世帯の暮らしを応援する賃貸住宅の整備や、充実した住宅補助などで移住者を呼び込もうとする方針は、地理的にも実現性と将来性を感じるものであった。



子育て応援日本一を目指す取り組みとは

埼玉県幸手市

ポイント

■人口減少で悩む幸手市の「子育て応援日本一」を目指す取り組み 子育て支援の拠点となる「ウェルス幸手」では、妊娠、出産、子育てを切れ目なくサポートする「ワンストップ窓口」を設け、子育てに関する手続きや専門家への悩み相談が一括で可能に。

視察を終えて

▶子育て家庭への応援事業を実施するサークルなどに対し、助成金を交付する施策は、活発なサークル活動を推し進めるために大事な支援だと実感した。
▶未就学児を養育する世帯に対し、地元産のお米を配布するハッピースマイル(米)ル推進事業について、子育て・地域産業の双方の支援につながる有効的な事業だと感じた。



総務文教常任委員会

10月12日~13日

類似規模の市民会館の運営状況は

山形県鶴岡市

ポイント

■事業費が当初の倍以上に！世界的建築家の手により設計された鶴岡市文化会館「荘銀タクト鶴岡」。工事入札は4回目ようやく落札され、事業費が当初の約45億円から2倍以上の90億円超となった。2018年にオープンし、指定管理にて運営している。

視察を終えて

▶席数1120席とした根拠は、鶴岡市は吹奏楽や合唱が盛んであり、学校での利用を一番に考えた由。
▶興行の営業活動は、事業担当者が独自のネットワークを活用し行っており、地域における客数が多いホールとしての評価が高い。
▶周辺エリアの観客人口を考え、こういったジャンルに主眼を置くかを検討したことは見習うべき。



交流拠点施設 ミライニの運営状況は

山形県酒田市

ポイント

■駅前再開発で誕生した交流拠点施設「ミライニ」 開放的で図書館らしくない図書館は、指定管理にて運営している。基本理念は「ヒト・モノ・コトが行き交い、多様なコミュニケーションが創出され、知(地)的好奇心がインスパイアされるみんなの居場所」

視察を終えて

▶所蔵数は約30万冊、閲覧席数は425席。蔵書検索機を導入し、貸し出し返却をセルフ化している。
▶酒田市内の全ての図書館で同じ法人が指定管理者となっている。
▶図書館内では、各コーナーやスペースに工夫を凝らして、多様なイベントが行われており、にぎわい創出を目指した交流拠点との位置づけは当市にも参考となる。



産業建設常任委員会

10月11日~13日

百年の森林構想について

岡山県英田郡西粟倉村

ポイント

■百年の森林構想 村の面積の約93%が森林。人口約1400人で、雪も多い山村。50年前に植えられた人工林を今後50年手入れし、価値ある百年の森林をつくっていくこと。そして、豊かな森林に囲まれた上質な田舎をつくっていくことを宣言している。

視察を終えて

▶地域資源を活用し、村の生き残りをかけて進めている「百年の森林」事業の挑戦には、熱意を感じた。
▶小さくても身の丈に合った雇用や経済効果を生むことで、地域の持続につなげていく思いが伝わってきた。
▶横手市も今後しっかりと計画を持って、森林環境整備を進めていかなければならないと感じた。



林業の取り組みについて

鳥取県八頭郡智頭町

ポイント

■山と暮らしの未来ビジョン 「森のようちえん」や「森林セラピー」など林業に関連したさまざまな事業を行っている。ビジョン策定後は、山林を単なる「林業の現場」ではなく、住民の暮らしを支える社会基盤と捉え、いかにして地域の持続性を保っていくかが示されていた。

視察を終えて

▶「伐採する木を選ぶ」から「残す木を選ぶ」林業への転換。見事に手入れされた森林や植栽に加え、ガイド付きのコースが多数用意されていた。
▶山林の面積が約93%を占める地域ならではの覚悟と工夫が感じられた。森林環境譲与税を有効に活用して事業を行っており、横手市でも参考になると感じた。



議会の主な動き

- 10月 4日 広報分科会
5日 福島市議会行政視察受け入れ、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)
11日 山形県尾花沢市議会行政視察受け入れ、産業建設常任委員会行政視察(~13日、鳥取県智頭町、岡山県西粟倉村)[P14]、広報分科会
12日 総務文教常任委員会行政視察(~13日、山形県酒田市・鶴岡市)[P14~15]
14日 市議会10月臨時会[P5]
19日 北海道網走市議会行政視察受け入れ
26日 群馬県前橋市議会行政視察受け入れ
27日 三重県伊勢市議会行政視察受け入れ、茨城県日立市議会行政視察受け入れ
28日 全員協議会(行政課題説明会)、産業建設常任委員会協議会
31日 厚生常任委員会行政視察(~11月2日、埼玉県さいたま市・幸手市、茨城県境町)[P15]
11月 7日 秋田県市議会議員研修会(秋田市)
8日 佐賀県基山町議会行政視察受け入れ
9日 男鹿市議会行政視察受け入れ

- 11月 10日 Y8サミット創快横手市議会[P2~3]
11日 厚生常任委員会協議会
14日 秋田県市議会議長会臨時会(秋田市)、広報分科会
15日 茨城県結城市議会行政視察受け入れ、新潟県新発田市議会行政視察受け入れ、ICTプロジェクトチーム行政視察(由利本荘市、湯沢市)[P14]
16日 愛知県知多市議会行政視察受け入れ、議会改革推進会議行政視察(~17日、千葉県鎌ヶ谷市、埼玉県所沢市)[P14]
17日 福島県須賀川市議会行政視察受け入れ
22日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会・行政課題説明会)、広報分科会
28日 市議会12月定例会(~12月14日)[P4~13]
12月 1日 広報分科会
5日 議会運営委員会
6日 全員協議会(議案説明会)
7日 広報分科会
8日 総務文教常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会、厚生常任委員会協議会
12日 正副委員長会議、議会運営委員会
13日 広報分科会
14日 議会運営委員会
16日 産業建設常任委員会協議会
20日 県南地域市議会議員研修会(大仙市)、広報分科会
22日 広報分科会

議会改革推進会議

11月16~17日

導入後の改善点
・議会と執行部が緊張感をもって話し合い、より対等な関係になった
・年間を通しての議員の活動が、より「見える化」された
・両市議会とも、数年にわたる市民や執行部との協議を重ねて導入の運びとなったこと



視察を終えて

導入後の改善点
・議会と執行部が緊張感をもって話し合い、より対等な関係になった
・年間を通しての議員の活動が、より「見える化」された
・両市議会とも、数年にわたる市民や執行部との協議を重ねて導入の運びとなったこと

通年議会の導入について
千葉県鎌ヶ谷市
埼玉県所沢市

ICTプロジェクトチーム

11月15日

感染症まん延時や災害時などにおいて、タブレット端末によるオンライン会議(委員会)を行うことの重要性を再認識した。
使用するオンライン会議システムは、議会環境の実情に合わせて選択することが大事である。
スムーズに進行するために議員全員が参加する一実践の場を設けると感じる必要だ。



視察を終えて

感染症まん延時や災害時などにおいて、タブレット端末によるオンライン会議(委員会)を行うことの重要性を再認識した。
使用するオンライン会議システムは、議会環境の実情に合わせて選択することが大事である。
スムーズに進行するために議員全員が参加する一実践の場を設けると感じる必要だ。

オンライン会議の取り組み
由利本荘市
湯沢市

青春 キャンパス色

横手清陵学院
中学校
メカトロ部

「部員みんなが切磋琢磨」

皆さん、こんにちは！横手清陵学院中学校メカトロ部です。メカトロ部は1年生6名、2年生6名の計12名で活動しています。主な活動は競技会に向けた練習とボランティア活動です。メカトロ部はWROというレゴブロックにプログラミングをしたロボットコンテスト、そして宇宙エレベーターロボット競技会に毎年参加しています。

8月には世界規模のWROという大会に参加し、2チームが県大会で優勝を果たし、全国大会では1チームが8位に入賞しました。また10月には、宇宙エレベーターロボット競技会があり、東北大会で2位と3位という成績を収めました。ボランティア活動はオフシーズンの活動で、先生から出題

されたテーマに従ってロボットを作ったり、よこでの全国線香花火大会やY²ぷらざでの展示など、地域の行事に参加したりしています。

今後も部員みんなが切磋琢磨し合い、知識や技術を学び、地域のために貢献する、そんなメカトロ部でありたいと思います。

横手清陵学院中学校メカトロ部 部長 小松 湊悟



横手清陵学院中学校・高等学校メカトロ部の皆さん

横手かまくらFMで市議会情報を知ろう！

横手市議会では、市議会の活動や取り組みを議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて！横手市議会」を放送しています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送しています。定例会最終日や臨時会当日の夕方には、審議結果もお知らせしています。

好評
放送中

横手かまくら FM 77.4MHz

もっと教えて！横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～

再放送：翌火曜日 午前7時30分～



今後の放送予定

★2/13「高校生議会だよりモニター」との懇談会

「高校生議会だよりモニター」として協力いただいている雄物川高校生徒会の皆さんとの懇談会の模様をお送りします。

前回（令和2年度）の開催では、広報委員も目からウロコの意見が続出！今回も、高校生の目線で議会だよりに期待することや、もっと多くの人に読んでもらうにはどういったことが必要かなど、高校生からのダメ出し続出覚悟での開催です。どんな話題が飛び出すか、乞うご期待！

*これまでの放送内容は
こちらからお聴きください。



文字多すぎ…
長文問題みたいで
読む気が
起きないよ～

表紙に学生が
描いたかわいいイラスト
載せたら手に取って
みたくなるかも



前回の懇談会の様子

分かりにくい
議会用語などは
こちらで
解説しています



分かりにくい議会用語が
他にもございましたら、
議会事務局までお知らせ
願います。

横手市議会公式
Facebookページ



タイムリーに情報発信中
ページへの
お待ちしています。

編集後記

あけましておめでとうございます。

新人議員の福田です。1年が経ち議会の
雰囲気にも、ようやく慣れて参りました。

広報委員として、横手市議会の活動を、市民の皆さまに分かりやす
く伝えていきたいと存じます。(福田 誠)

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長	大日向香輝	副分科会長	林 一輝
委員	井上 忠征	加藤 雄太	青山 豊
	福田 誠	山形 健二	